

おふさ観音

- ・高野山真言宗・別格本山の寺です。
- ・約370年前、この地で暮らす「おふさ」という娘が池のそばを歩いていた時、目の前に白い亀に乗った観音様が現れた。そこで、おふささんは池のそばに小さなお堂を建て観音様を祀った。その観音様は色々な願い事を叶えて下さることから村人たちに厚く信仰され大切に祀られた。やがて誰からともなく「おふさ観音」と呼ばれるようになったと云われている。
- ・寺では、春、秋の“バラ祭り”、夏には“ふうりん祭り”と、訪れる人々を楽しませてくれている。



八木札ノ辻

- ・“札ノ辻”は街道や宿場町など往来の多い場所に高札を立てた道辻を指す。
- ・八木札ノ辻は、古代大和の主要道路“下ツ道”、“横大路”との交差点を指しており、江戸時代中期以降、八木札ノ辻界隈は、お伊勢参りや大峯参詣巡礼などで賑わっていたと推定されている。
- ・八木札ノ辻の東側にある「平田家（旧旅籠）」は、八木札ノ辻交流館（入場無料）となっている。



下ツ道

7世紀中頃整備された。見瀬丸山古墳北側を起点として藤原京から奈良盆地中央を真っすぐ北へ進み、平城京の朱雀大路に至る。奈良時代には、飛鳥・藤原京と平城京を繋ぐ大道として盛んに利用されたと思われる。

横大路

桜井市の三輪山の南から葛城市の二上山付近まで奈良盆地を東西にほぼ真っすぐに貫く道で、難波宮と飛鳥宮を結ぶ官道の一つとして整備された。東では、伊勢街道や初瀬街道に、西側では竹内街道や長尾街道と繋がっている。

おかげ参り八木接待場所跡

江戸時代、伊勢神宮への参拝は、「おかげ参り」と呼ばれ多くの人々が伊勢神宮を目指した。そして、横大路も賑わい、八木の人たちは、そうした旅人に対し、無料で食事や湯茶の接待をこの地で行った。

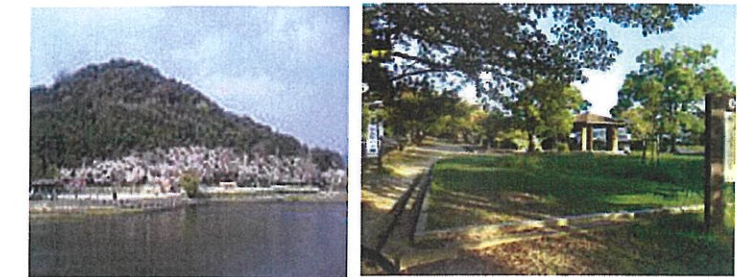


耳成山から藤原京周辺を歩こう



耳成山

- ・天香久山、畝傍山と並んで名勝大和三山の一つで、橿原市の最も北に位置する。標高139mで、中腹には耳成山口神社があり、南麓に市民の憩いの場となっている耳成山公園がある。古池を活かした親水公園で、池堤はジョギングコースになっており、春には、桜の名所として見物客で賑わう。
- ・この山は、どの方向から見てもきれいな円錐形で、山の形から耳無し山（顔に例えれば耳がないような形）ともいわれている。



藤原京

- ・日本史上で最初の条坊制を布いた本格的な唐風都城で、持統天皇によって造営された。飛鳥浄御原宮から都を遷した694年から平城京に遷都する710年までの16年間、三代の天皇（持統、文武、元明）が居住した。
- ・藤原京の規模は、5.3km四方、少なくとも25kmはあり、平城京（24km）、平安京（23km）をしのぐ古代最大の都であったようだ。
- ・藤原京では、季節ごとに美しい花が咲き、春は菜の花、夏には花菱、キバナコスモス、秋には300万本のコスモスが楽しめる。



橿原市藤原京資料室

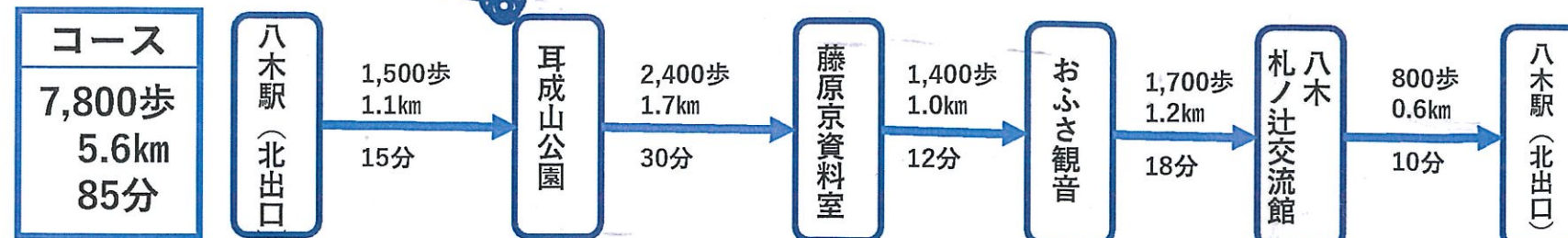
資料室は、藤原宮大極殿跡にほど近いJAならけん2階にある。入場無料。藤原京の模型、柱、瓦の出土品の展示、また、当時の様子を再現したCGも見ることができる。



【参考情報】

耳成山山頂まで、
15分、1,600歩
耳成山周囲一周で、
25分、1,900歩

※：大神宮灯笼
伊勢神宮までの道先案内として街道に筋に設置された灯笼



※：歩数、距離、時間は、あくまで目安です。体調に合わせてウォーキングを楽しんでください。

平成30年10月作成
橿原市運動普及推進員協議会